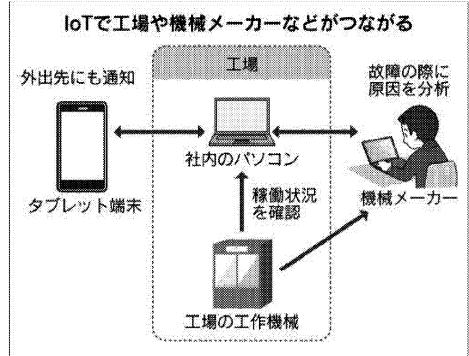


# アルミ加工にAIIOT

## 城山精機の戸田工場

アルミ加工の城山精機製作所(東京・板橋)は、埼玉県戸田市の工場に人工知能(AI)を活用した加工機械やあらゆるものがネットにつながるIoTシステムを導入した。主力の光学機器部品のアルミ切削をはじめ、工場全体の生産効率を高める。県内の中小製造業では先進的な設備を整え、成長が見込まれる医療機器分野への部品供給につなげたい考えだ。

- 切削速度を記憶 最適化
- 外出先で生産状況 確認



稼働させた。うち3000万円は中小企業庁の「ものづくり補助金」を活用した。アルミ加工は素材や刃物の種類によって切削速度が異なり、作業員の熟練が必要とされる。新たな加工機械はAIで速度を記憶



AIを活用した工作機械を導入した(埼玉県戸田市)

し、同じ材質の素材と刃物を使う場合は前回設定した最適な速度で切削できる。蓄積したデータを活用すると速度調整が楽になるため、経験が浅い若手の作業員でも技術を身につけられる。現在、切削工程を担当するのはベテラン作業員が中心だが「2〜3年後には若手も増やしたい」(同社)という。

新設備は同時に5つの方面を2割増やす計画だ。また、新設備と既存の旧策を併用できる。旧策は1959年設立の望遠鏡やカメラなどで、光学機器部品を中心に、17年3月期の売上高は約4600万円。成長が見込まれる医療機器分野への事業拡大を目指しているが、従来の生産設備で

新設備は同時に5つの方面を2割増やす計画だ。また、新設備と既存の旧策を併用できる。旧策は1959年設立の望遠鏡やカメラなどで、光学機器部品を中心に、17年3月期の売上高は約4600万円。成長が見込まれる医療機器分野への事業拡大を目指しているが、従来の生産設備で

また、従来の機械では前後、左右など一方向しか切削できなかったが、

また、従来の機械では前後、左右など一方向しか切削できなかったが、